

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 1. 大学としてのポリシー

本学の学士課程において、幅広い教養を身につけ、専門知識と技術を修得し、以下の要件を満たした学生には学士の学位を授与する。

- 1) 学則に定める所定の期間、在学し、本学の教育理念及び教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、卒業要件を満たす単位数を修得していること。
- 2) 身につけた幅広い教養と修得した専門的知識や技術をもって社会に貢献しようとする強い意志と自ら行動できる力を有していること。

### 2. 学部学科のポリシー

#### (1) 栄養学部

##### 栄養学科・フードデザイン学科

栄養学部は、次に掲げる能力を有する学生に「学士（栄養学）」〈栄養学科〉、「学士（フードデザイン学）」〈フードデザイン学科〉の学位を授与する。

- a 学則に定める所定の期間在学し、各学科の教育理念及び教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、卒業要件を満たす所定の単位数を修得していること。
- b 食と栄養を通じて人類の福祉に貢献しようとする意志を有し、それを実現する幅広い教養と専門的知識と技能をともに修得していること。
- c 社会生活に必要な基礎的教養とコミュニケーション能力を有し、社会の変化に対応できる総合的判断力を有すること。

##### 栄養学科

- ① 管理栄養士として、ヒトの健康の維持増進を栄養・食事の面からサポートできる能力を有すること。
- ② 栄養・食生活などの専門的知識をわかりやすく相談者に説明、指導できる能力を有すること。

##### フードデザイン学科

- ① 食資源の利用・生産、食品成分の働き 食品の安全性、食品の開発・加工・製造、食品の流通・販売などに関する基礎的な知識や技術を修得し、食品をデザイン（企画・開発）する能力を有すること。
- ② 栄養士として、食を通じて、人々の栄養や健康の面から社会に貢献することを意識し、自ら行動できる能力を有すること。

#### (2) 心理学部

##### 現代応用心理学科

心理学を学ぶことによって、人々の幸福に貢献するために、心理学の専門知識や技術を応用できるようになることを目指し、次に掲げる4つの力を有する学生に「学士（心理

学)」の学位を授与する。

- a 心理学の専門を通して、科学的視点に基づいて人の心や行動のもつ特性を知識として学び理解する力があること。
- b 幅広い教養や心理学の基礎知識を通して、情報やデータを収集・加工して活用する力、情報から論理的に結論を導く力、自らの考えを適切な言葉で表現し発信する力、他者とコミュニケーションを図り協働する力をもつこと。
- c 心理学の専門性と学術的知識の活用方法を実践的に学ぶことによって、市民あるいは社会人としての責任と倫理観をもち、社会に積極的に貢献しようとする意欲を有していること。
- d 「卒業研究」で学ぶことを通して、総合的な学習経験と創造的思考力を習得し、知識・技能等を活用して自ら立てた課題を解決する能力を身につけていること。

### 3. 大学院研究科のポリシー

#### (1) 栄養学研究科

##### 博士前期課程

カリキュラム・ポリシーに示した内容の能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した大学院生に対して、修士（栄養学）の学位を授与する。

- a 修了時に備えるべき能力  
食品及び栄養に関して体系的に身につけた専門的なものの見方や専門的技術を生かし、社会に還元できる能力を備えていること。
- b 学位の授与を認定する方法  
修士論文の審査は、主査及び副査による論文審査、公開の論文発表会と審査委員による口頭試問を行い、修士の学位授与について合否を判定する。

##### 博士後期課程

カリキュラム・ポリシーに示した内容の能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した大学院生に対して、博士（栄養学）の学位を授与する。

- a 修了時に備えるべき能力  
専門領域のより深い知識と思考力を身につけ、自立した研究者、指導者としての能力を身につけていること。
- b 学位の授与を認定する方法  
博士論文の審査は、主査及び副査による論文審査、公開の論文発表会と審査委員による口頭試問を行い、博士の学位授与について可否を判定する。

#### (2) 心理学研究科

##### 博士前期課程

- a 臨床心理学又は心理学を中心とした高度な専門知識について深い理解を持っている

と同時に心理学以外の領域についても学び、物事を幅広い視野から深く考えるために役立てることができていること。(知識)

- b 臨床心理学又は心理学の知識を通して人間と社会への深い理解、さらに、社会人として求められる倫理観や責任を持ち、他者とともに専門職業人として協働できる能力を有していること。(態度)
- c 臨床心理学又は心理学の知識を通して他者とのコミュニケーションスキル、データや資料を読み取る能力、情報処理能力などの技能を獲得していること。(汎用性技能)
- d 総合的な学習経験と創造的な思考力の集大成として修士論文を提出していること。

#### 博士後期課程

- a 心理学に関する最新の知見と考え方、対象としている社会的な問題とその周辺の課題について専門的な知識に基づき、科学的な探究が行えること。(知識)
- b 心理学についての未開拓、未解決な課題を解決するための研究を行い、関連する学問分野や社会に新しい知見を提供できるようになること。(態度)
- c 心理学について、独自の研究計画・方法・知見を見出し、心理学分野に新しい知見を提供できること。(技能)